

## 5次総中間評価事業



## 7/16 第1回全体会の開催

飯館村第5次総合振興計画（以下・5次総）の中間評価・見直し事業の実施に伴う、第1回全体会がいちばん館で行われ、各専門部会の委員ら60人が参加しました。

部会は、村民や役員職員、6月に事業提携協定を結んだ「福島大学・飯館までいプロジェクト（塩谷弘康代表）」などの専門家をメンバーとする「教育」や「地域産業」などの6つの専門部会で、5次総前期5年間

の評価と後期5年間の重点事業の見直しを来年の2月までに行います。

菅野村長が「5次総は、村民が主体になって作りあげた全国的にも珍しい総合計画。5年目になり、策定時とは状況も変化してきているので、新しい時代を切り拓いていけるような見直しをお願いしたい」とあいさつし、藤井美奈子さん（上飯館）をはじめ3人の代表に委嘱状を手渡しました。

続いて、門馬副村長が、現在村が取り組んでいる政策課題の講話を受けた後、各部会に分かれて、自己紹介や各部会の検討課題について熱心に討論を行い、今後の進め方を話し合いました。

今後は、部会毎に検討を進め、12月には中間報告会を開き、来年度予算に反映していく予定です。



▲検討課題について各専門部会毎に話し合いが行われました。



▲藤井美奈子さん（写真右）、塩谷弘康代表（写真中央）、村職員（写真左）へ委嘱状を交付する菅野村長

## 全員、元気に「ただいま！」

## 7/30 海洋アドベンチャー スクール到着式



▲到着式での「IKAS（イカス）」コール

村が実施した第12回海洋アドベンチャースクールの団員（66人）たちが全員無事に帰村しました。

真っ黒に日焼けした団員たちは、迎えに来た保護者の顔を見ると顔を安心したような笑顔を見せ、北海道での体験を話していました。

アドベンチャースクールの報告会は9月18日に公民館で行われます。

（9月号で特集記事を掲載します）



▲前夜祭を盛り上げた花火大会（日本デザイン専門学校提供）



▲思い出に残るモーターボートでの湖上遊覧



▲ダム役割についての紙芝居



▲郷土芸能の披露



▲子どもたちに人気のポニー乗馬



▲相馬吹奏楽団による演奏



▲来場者に振る舞われたもちつき大会



▲真野川漁業協同組合提供による魚釣り



▲ジャンケン大会



▲水しぶぎを楽しんだ水上バイク体験

## 7/26 「はやま湖」森と湖まつり2009

18回目を迎えた「はやま湖」森と湖まつり」が大倉の真野ダム周辺を会場に開催されました。

このまつりは、森林やダムの役割・重要性について広く知ってもらうことを目的に、真野ダムに親しむ運営委員会と真野ダム管理事務所が「森と湖に親しむ旬間」期間中に開催しています。

まつりでは、ダム施設や取水トンネル見学、森林教室、ポニー乗馬体験、モーターボートの湖上遊覧など、さまざまなイベントが行なわれ、なかでも緑いっぱい自然の中を満喫できるモーターボートや水上バイク体験は、子どもから大人まで人気を集めました。

ステージでは、歌謡ショーや大倉民俗芸能保存会による「狐舞」、「神楽舞」が披露されたほか、須虎捕太鼓の披露、相馬吹奏楽団による演奏なども行われました。

そのほか行政区による出店や特産品販売コーナーも設けられ、テントの前は多くの家族連れなどで賑わいました。

また、25日に行われた前夜祭では、花火大会も開催され、来場者らは夜空と湖面に映る花火を楽しんでいました。